市民病院だより

避難所での感染対策

感染管理特定認定看護師
永渕智寛（ながふちともひろ）

はじめに

今回は、近年の豪雨や地震災害など、避難所での生活を余儀なくされる場合があることを想定して、一人一人が気を付ける感染対策についてお伝えします。

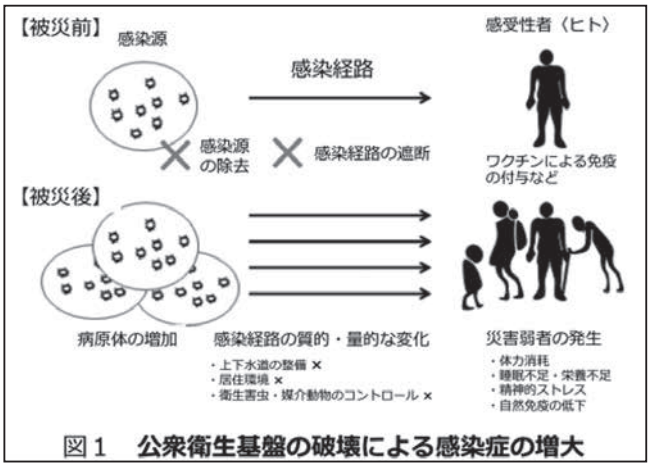


図1　公衆衛生基盤の破壊による感染症の増大

引用：環境感染学会　大規模自然災害の被災地における感染制御マネージメントの手引き

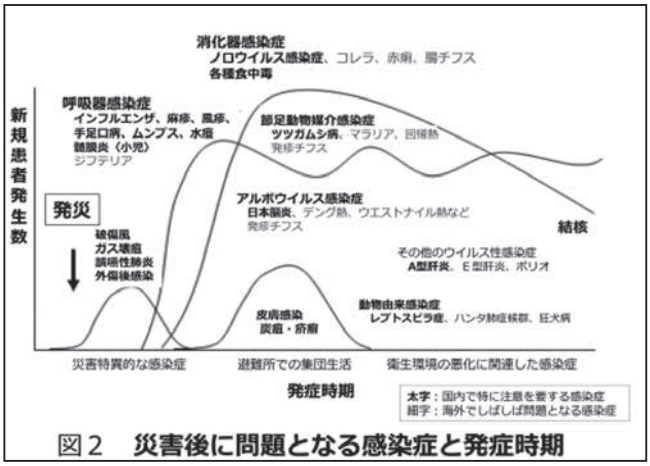


図2　災害後に問題となる感染症と発症時期

避難所における感染対策の視点

避難所は大勢の人が同じスペースを共有するため、感染症が広がるリスクが高い場所です。感染予防とストレス軽減のためには、個人のスペースを確保することが理想的です。

感染源としては、〝ドアノブ、スイッチ、トイレなど〟不特定多数の人が触れる場所に注意が必要です。多くの人が触れた場所に触れた後は、手指消毒を実施しましょう。

また、災害時ならではの感染症が発生する可能性もあることを覚えておきましょう。（図1、図2）

感染対策の基本

感染対策の基本は、手洗い・手指消毒です。皮膚は感染源であるバイ菌をブロックするバリア機能があります。逆に、目・鼻・口など粘膜がむき出しになった部位には、皮膚のバリアがありません。そのため、それらをバイ菌がついた手で触ってしまうと、バイ菌が体内へ侵入することを許してしまいます。

手洗い・手指消毒で手に付いたバイ菌をリセットしましょう。

【問合せ】
小城市民病院
☎73・2161

▲ホームページ

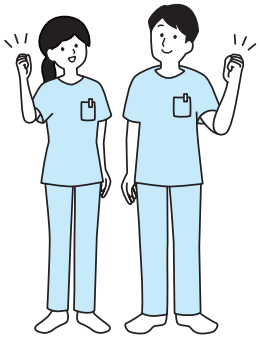
トイレでの感染リスク

避難所でしばしば問題になるのが、ノロウイルスです。ノロウイルスは、アルコールの効果が薄く、少ないウイルス量で感染してしまうという特徴があります。予防するためには、〝石鹸での手洗いと、トイレをきれいに保つ〟ことが大切です。

掃除当番を決めてチェックすることが、きれいなトイレを保つことに繋がります。

小城市民病院職員採用試験

看護師を採用します。

◆**受付期限**　10月28日㈮

※詳細は小城市民病院ホームページでご確認ください。